

法務省“社会を明るくする運動”中央推進委員会主催

第７２回“社会を明るくする運動”作文コンテスト



**地域の自まん再発見**

岐阜県　高山市立岩滝小学校６年

　ぼくの家は、岩滝にあります。ここは、岩井、滝、生井の三町内でできている地域です。コンビニや病院から離れている地域なので少し不便だなと思うこともあります。でも、乗鞍岳をはじめ雄大な山々を望む景色の美しいところです。カモシカやキツネなどの動物にもよく出会います。春には山菜がたくさんとれ、秋にはたくさんのどんぐりや栗で遊べる。そんな自然豊かなところがぼくは大好きで、自然は岩滝の自慢だなと思っていました。でも、自然以外にも岩滝の自慢があることに気付きました。

　岩滝小学校に通って六年目。小学校生活の中で、地域の方々にたくさんお世話になってきました。ぼくが一番好きな行事は、棚田活動です。滝町の棚田は、「天空の棚田」と言われる美しいところです。岩滝小学校は、そこで米作りをしています。全校で田植え、稲刈り、脱穀。いつも、地域の方が指導してくださいます。ぼくたちはみんな講師の方の名前も顔も知っています。講師の方も、ぼくたちを名前で呼んでくれます。地域の講師の方と話ができることも楽しみの一つです。「去年より上手になった。」とほめてもらえると、うれしくてやる気が出ます。収穫祭に招待した時、おじいさんの講師の方が、「来年の作業で使ってくれ。」と、全員にあじかを作ってきてくださいました。お世話になっているのはぼくたちなのに。ぼくたちは、大事にされているなと思います。

　こんなこともあります。ぼくたちは、毎朝犬といっしょに登校しています。犬の散歩をしながらついてきてくださる方がみえるのです。スクールサポータ―の方と犬の名前をもちろんみんな知っていますし、犬のことはリードを引いたりして、みんなかわいがっています。おじさんは、誰かが休むと心配してくださいます。学校に着くと、もう一つの班を迎えに行ってくださいます。安全に登校できるように、ぼくたちのことを大事にして下さっています。

　学校で勉強していると、たまに、軽トラックが来て、何かを降ろしていくのが見えます。「たくさんとれたから・・・。」と言って、ホウレン草やトマトを持って来てくれる地域の方々です。全校みんながもらって帰りますが、家でもらった方の名前を言うときに、ぼくはちゃんと顔も分かっています。よく、社会や総合的な学習で、話をうかがったりするからです。そして、もちろん、聞いた家族も、誰からもらったかちゃんと分かって、出会ったときにお礼を言っています。たくさんの方が、ぼくたちの勉強の講師になって教えに来てくださいます。「いそがしいのに、たのむとみんなこころよく引き受けてくださるよ。」と、先生に聞きました。ぼくたちは、本当に大事にされています。

　去年の夏休み、突然ぼくたちのところへ教育長さんがみえました。お父さんが感謝状を受け取り、みんなで記念写真を撮りました。岩滝小学校では、夏休みに公民館や学校のランチルームを使って、「寺子屋」をしています。お家の人が交代で当番をして小学生を預かり、宿題を見届けたり、サイエンスショーや読み聞かせ、防災学習などいろいろな楽しい学習ができる場を作ってくれたりしています。みんなといっしょだと宿題がはかどるし、みんなでプールに入るのも楽しみです。ぼくは、今まで「寺子屋」があるのは当たり前のことだと思っていました。でも、この感謝状を読んで、これは岩滝だけの特別なことだったんだと知りました。そして、保護者の方々がお互いに協力してぼくたちを見守ってくれていることが分かり、改めて岩滝の地域は人のつながりが強くてあたたかいのだと気付きました。ぼくは、この「あたたかい人のつながり」が、岩滝の自慢なんだと気付きました。

　両親のメールに、「不審者情報」がよく入ってきます。「下校途中の児童が声をかけられる」ということが多いと聞いて、こわいなと思うことがあります。また、ニュースでは、いろいろな事件が報道され、いやな世の中だと暗い気持ちになることもあります。どうしたら、社会を明るくすることができるのかな、と考えると、ぼくは、岩滝の地域にヒントがあると考えます。どこの地域も、岩滝のようなあたたかい人のつながりがあれば、悪いことをする人は近づけないのではないでしょうか。ぼくは、下校中何かあったら、岩滝の人ならだれにでも「助けて」と言えます。そんな関係が大事だと思います。ぼくは、これからも、だれにでも進んであいさつをして、人のつながりを大事にしていこうと思います。そして、将来どこに住んでも、岩滝のような温かい人のつながりができるように努力したいです。岩滝のような人のつながりが日本中に広がり、明るい社会になったらいいなと思います。